

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第19号 R元.9.6

茨城県教育研修センター

教科教育課

☎0296-78-3213 (直通)



「みんなで創ろう『Technology』の授業研修講座」を実施しました



講義「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

上野 耕史 先生

「技術教育における学習評価」を中心に講義をしていただきました。講義では、学習評価に関する基本的な考え方として、評価の機能、基本構造について資料を基に説明をしていただきました。また、授業で使う評価規準について、設定した「題材の目標」に照らして、「内容のまとめりごとの評価規準（例）」を学習指導要領解説における記述等を参考に具体化し、指導する学年や使用する教材を踏まえ、学習活動ごとに具体化したり、整理・統合したりするなどして設定していく手順を丁寧に説明していただきました。

<学習評価に関するウェブページのご紹介>

文部科学省 学習評価に関するQ & A

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/qa/1299415.htm

国立教育政策研究所 評価規準の作成のための参考資料

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html>

実践発表・演習

「『Technologyの評価・活用』の指導と評価の工夫」

つくば市立豊里中学校教諭 大武 壱啓 先生



実践発表では、第58回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会茨城大会の第1分科会「材料と加工の技術」で提案する「技術の見方・考え方を働かせ、製品を評価・改善する学習を通して、技術に込められた問題解決の工夫について考え、問題を見だし、課題を解決する力の育成」について発表いただきました。

技術・家庭科の研修の機会は貴重です。来年度も希望研修講座を実施する予定ですので、どうぞご参加ください。



演習では、コロックル（株式会社トップマン）という「情報の技術」の指導内容のネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツや計測・制御に関するプログラミングによる問題の解決で取り扱うことができる教材を用いて、実際にプログラミングして動作確認したり、グループで活用事例を考案したりする研修を行いました。

